

ARS LONGA, VITA BREVIS

室蘭輪西・八丁平 塾・フリースクール 共生舎 教室だより



目次

「学びの先」の実現を
意識しておこう
.....

学びを自ら
進めていくコツ
.....

幹旋教材とその
活用について
.....

令和6年度 共生舎
学習塾指導方針

公立高入試に激震？

「学びの先」の実現を意識しておこう

例年、人気となっている室蘭東翔高。今年も例年通り、倍率で見ると激戦だったのですが、実際に蓋を開けてみると、さらに激戦であった、という情報を多く耳にしました。

学業成績、部活の活躍…だけではなく、特に面接では、学校の特色、短所と長所を踏まえた自己PR、活躍してきたことの内容やそこから得られたもの、これから活かしていきたいことなどの深掘り質問、将来の目標とそれに向けた具体的な学習へのビジョン…など、相当場慣れしているか度胸が座っていないと難しい内容であったと感じます。

しかし、こうした「自分の経歴」と「これからできること・したいこと」については、いずれ向き合わなければならない時が訪れます。今具体的なことがわからないにしても、関心のあることからでよいので、何のために学ぶのか、そしてその先はどうするのか、というところまで、気持ちに余裕のあるうちに考えておくことが、これからますます必要になりそうです。

目標、道のり、戦略…「なんとなく」からの脱却を

学びを自ら進めていくコツ

中1・中2の皆さんは、学年末試験も終わり、新年度に向けた最後の月を迎えましたね。

この一年の学習活動を振り返ってみて、自分で納得できる成果は、何%ぐらい得られたでしょうか？

また、現6年生のみなさんは、中学への進学を控え、どのような気持ちでいらっしゃるでしょうか。

ここで一つ、重要なことをお伝えします。

ただ教科書の内容をなぞったり、なんとなくワークを解いたり、答えを覚えたりするだけでは、最近のテストは歯が立たないことが多い、ということです。

教科書のまとめをしたり、ワークを解いたりするにも、「考察」が必要になってきます。

たとえば、歴史や公民で教科書まとめをするときに、「高度経済成長」という言葉について考えてみます。

「なぜ高度なのか？」

敗戦後の焼け野原から、20年もしないうちに、近代的なビル街が出来上がり、今でこそ当たり前の新幹線や電化製品が登場したり、ということですが。

いまや、テレビでもYouTubeが見られるようになりましたし、スマホでエアコンを操作したりすることもできるようになりましたが…それは当たり前ではなかったのです。

このように、「なぜそう呼ばれるのか」を、自分なりに考えてみて、そういう発見も含めて、ノートにまとめられるようになるとういのはいいのでしょうか。

学校外での学習のトータルマネジメント

斡旋教材とその活用について

主に新中1～新中3向けに、この度若干の教材斡旋を行います。目的は、向こう1年間で、学校の進度に対応する形で、「主体的・対話的で深い学び」の実現をより確実なものとすることにあります。

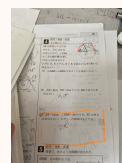
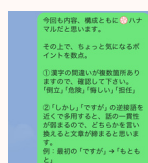
今回は、英語、数学の2科目は基礎的内容からそれぞれの理解力に応じたアドバイスができる教材を、そして理科・社会の合本で入試や学力テストにも対応した記述中心の教材を、それぞれ斡旋致します。

当教室は、原則として「宿題」を課すことは行なっておりませんが、学生生活を終えた後も必要となる思考力・判断力・表現力が、高校入試時点ではもうある程度完成されていなければ厳しくなっているという昨今の情勢から、なるべく無理のない形で、ご家庭でも取り組んでいただき、それを毎週確認・指導させていただけないかと考えた次第です。

斡旋教材の注文のみという形でも、斡旋教材の進捗共同管理という形でも、どちらでも問題ありません。

進捗共同管理の場合は、事実上の宿題とはなりますが、その時その時の状況を見ながら、生徒さんと相談の上、出題範囲を決定する方向性で考えています。

当教室としても、これまでの自主自立の考え方は踏襲しつつ、日々のサポートを充実させて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



↑LINEなどでも随時、生徒さんからの質問は受付しています。進捗共管でも、同様の取り進めができますので、取り組みはしやすくなると思いますが、いかがでしょうか？

「主体的・対話的で深い学び」をどう高める？

令和6年度 共生舎 学習塾指導方針

①初等（小学）部

- ・ 令和6年4月見込
小4 3名・小5 3名
小6 3名 計 9名
(うち1名休塾)

・ 基本的に、従来同様、家庭学習補助を中心としますが、希望者には教材等の斡旋や、独自に深めたい学びのお手伝いもいたします（例：気象について）。

・ 受入時間は17～18時台の優先割当となりますが、難しい場合は相談の上受入することと致します。

②中等部

- ・ 令和6年4月見込み
中1 8名・中2 7名
中3 7名 計22名

・ 令和6年3月7日文書「令和6年度の学習塾事業運営方針と教材斡旋について」に基づき、希望者へ斡旋教材を利用した家庭学習共管を行います。

・ 生徒の状況を見ながらはなりません、スポーツと同様に、日々のトレーニングをコツコツ積み重ねることを意識して対応したいと考えています。

・ 家庭学習共管を希望しない生徒にも、日々の相談サービスの活用を促します。

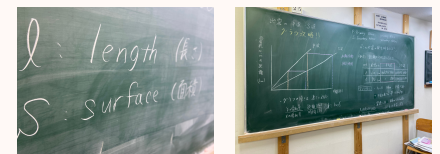
・ 推薦入試で特に問われる、キャリアビジョンづくりのため、自己分析や論理的思考力の養成についても定期的に取り組んでいただくことを予定しております。

③高等部

- ・ 令和6年4月見込み
高1 1名・高3 3名
計 4名

・ 新高1生には、春休みを利用して、スムーズな中高連携となるよう、高校の先取りを行います。

・ 新高3生には、それぞれの進路に照準を合わせ、基礎力養成から始め、入試問題の類題にも積極的に触れる機会を設定していきます。



編集後記

・ 私事ですが、2月末に、英検準1級を取得しました。高校の英語教諭に求められる水準での英語力はあることは証明されたこととなりますが、実際に英語を使用する場面では、資格は自信になるものの、出たところ勝負になることが多いです。

・ 未知のものと向き合うことは慣れないことで、不安もつきものです。しかし、自分で必要性を見つけて吸収し、ものにしていくことが、これからますます求められるでしょう。

・ 勉強は「詰め込む」ものではなく、未知のことを自分なりに消化していくための訓練ではないでしょうか。